



RDA Japan News

Riding for the Disabled Association Japan

Happy People Make Happy Horses



東京都知事認定 特定非営利活動法人 RDA Japan 会報 ～ 障がいをもつ人のための乗馬 ～ 2022年7月1日 Vol.116

RDA Japan 定例総会を開催



去る5月7日(土)、RDA Japanの定例総会が開催されました。
2021年度の事業報告・会計報告及び2022年度の事業計画・予算案が事務局より報告されました。

また、新理事長に中田希衣氏が就任され、新出発の総会となりました。

●定例総会報告

- 日時：2022年5月7日(土) 10時～12時
場所：K-P l a tセンター北
神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-24-17
- 出席人数：138名(委任状含む)
- 議長：中田順寿
- 議事録署名人：土谷麻紀、塚本雅弘
- 議案：第1号議案 令和3年度事業報告に関する件
第2号議案 令和3年度会計および監査報告に関する件
第3号議案 令和4年度事業・予算計画に関する件
第4号議案 新年度、理事の選任について
第5号議案 JRA 支援事業について
第6号議案 その他

※総会審議の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.rdajapan.or.jp/>

紙面の都合上、2022年度の事業に関わる会計報告のみの掲載とさせていただきます。
ご了承下さい。



■ 2021 年度会計報告

I 収入の部				II 支出の部			
科目	予算額	決算額	備考	科目	予算額	決算額	備考
1.会費収入				1.運営支出			
正会員費	600,000	624,000		会議費	300,000	0	
賛助会員費	0	10,000		通信費	200,000	143,955	事務局携帯料金、FAX、郵送料、宅配料、総会はがき代等
2.寄附金収入				旅費交通費	300,000	18,423	
寄附金収入	1,000,000	1,059,000		消耗品費	150,000	121,010	経理部PC買替含む
物品による寄附				修繕費		4,400	経理部PC点検料
3.補助金収入			内訳	専門家への相談・依頼	300,000	216,100	顧問税理士報酬、司法書士報酬、通訳翻訳報酬
民間助成金収入	15,060,000	*21,055,599	●ゆるやかネットワーク様より55,599円 ●全乗協様より21,000,000円 (内訳) 1,500万円(2021.3.10受取)認定インストラクター養成講習会 600万円(2021.8.10受取)認定アドバイザーセミナー *上記2事業の実行額と受取助成金との差額合計2,818,313円を全乗協様へ返還済(2021.1.31返還)	慶弔費	10,000	10,000	
4.事業収入				租税公課	1,500	2,000	
(1)普及・啓発事業				給与	480,000	660,000	事務局、経理部
会報の発行				広告宣伝費	60,000	0	
ガイドブックの配布	50,000	15,000		諸会費	70,000	67,704	HET1年会費€500
リボンマグネットの配布	5,000	1,500		什器備品費			
パンフレットのリニューアル				支払手数料	15,000	4,130	
RDAJオリジナルグッズの販売	50,000	0		雑費			
HPの充実と有効活用				2.事業支出			
人材交流				(1)普及・啓発事業			
写真コンテスト				会報の発行	220,000	219,471	
ボランティア・馬表彰				ガイドブックの配布	10,000	6,300	
ユニット認定・更新	30,000	9,000		リボンマグネットの配布	1,000	930	
シンポジウム・主催セミナー				パンフレットのリニューアル	100,000	0	
				RDAJオリジナルグッズの販売	20,000	0	
				HPの充実と有効活用	400,000	28,080	HP更新料
				人材交流	0	0	
(2)人材育成事業				写真コンテスト	30,000	53,518	審査員報酬含む
各種講習会・試験	1,000,000	616,860		ボランティア・馬表彰	20,000	5,870	
インストラクター資格認定・更新	30,000	45,000		ユニット認定	100,000	10,895	認定調査費用等
5.雑収入				ユニット支援	100,000	0	
雑収入				シンポジウム	200,000	*61,919	HET1ソウル大会参加費用(助成金)含む
受取利息	10	11		ガイドブック有償配布原価	50,000	3,790	
当期収入合計(a)	17,825,010	*23,435,970	*実質的な助成金収入を反映	(2)人材育成事業			
前期繰越金収入(b)	3,817,581	3,817,581	活動計算書の金額	各種講習会・試験	15,700,000	*18,456,257	18,181,687円
収入合計	21,642,591	*27,253,551	*(a)実質的な助成金収入を反映	インストラクター資格認定・更新	20,000		通常講習会274,570円 ログブック送料、合格証発送料、消耗品等
						32,664	
				3.予備費			
				予備費			
				当期支出合計(c)	18,957,500	*20,127,406	*実質的な助成金事業支出を反映
				当期収支差額(a)-(c)=(d)	△1,132,490	*3,308,564	*上記(c)実質的な助成金事業支出を反映
				次期繰越金額(b)+(d)	2,685,091	4,210,899	活動計算書の金額

■2022年度 収支予算案

単位:円							
科目	予算額	科目合計	備考	科目	予算額	科目合計	備考
I 収入の部				II 支出の部			
1.会費収入				1.運営支出			
正会員費	600,000			会議費	20,000		
賛助会員費	0	600,000		通信費	200,000		
2.寄附金収入				旅費交通費	200,000		
寄附金収入	500,000			消耗品費	150,000		
物品による寄附		500,000		印刷費	0		
3.補助金収入				専門家への相談・依頼	150,000		
民間助成金収入	1,000,000	1,000,000		慶弔費	10,000		
4.事業収入				租税公課	1,500		
(1)普及・啓発事業				給与	720,000		
会報の発行	0			広告宣伝費	60,000		
ガイドブックの配布	60,000			諸会費	50,000		
リボンマグネットの配布	1,000			什器備品費			
パンフレットのリニューアル	0			支払手数料	15,000		
RDAJオリジナルグッズの販売	30,000			雑費		1,576,500	
広報活動の充実				2.事業支出			
人材交流				(1)普及・啓発事業			
写真コンテスト				会報の発行	220,000		
ボランティア・馬表彰				ガイドブックの配布	10,000		
ユニット認定・更新	60,000			リボンマグネットの配布	1,000		
シンポジウム・主催セミナー	0	151,000		パンフレットのリニューアル	100,000		
(2)人材育成事業				RDAJオリジナルグッズの販売	20,000		
各種講習会・試験	300,000			広報活動の充実	50,000		
インストラクター資格認定・更新	36,000	336,000		人材交流	100,000		
講師育成セミナー				写真コンテスト	60,000		
5.雑収入				ボランティア・馬表彰	30,000		
雑収入				ユニット認定	50,000		
受取利息	5	5		ユニット交流・支援	100,000		
当期収入合計(a)	2,587,005	2,587,005		シンポジウム	20,000		
前期繰越金収入(b)	4,210,899	4,210,899		協賛広告	60,000		
収入合計		6,797,904		ガイドブック有償配布原価	50,000	871,000	
				(2)人材育成事業			
				各種講習会・試験	300,000		
				インストラクター資格認定・更新	20,000		
				講師育成セミナー	100,000	420,000	
				3.予備費			
				予備費		0	
				当期支出合計(c)	2,447,500	2,447,500	
				当期収支差額(a)-(c)=(d)		139,505	
				次期繰越金額(b)+(d)		4,350,404	

■2022年度の主な事業

(1)普及啓発事業

会報の発行（年4回）
 障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流
 ユニット認定
 ユニット支援
 シンポジウム・セミナーの開催
 写真コンテスト
 ボランティア表彰・馬表彰
 ガイドブックの頒布
 オリジナルグッズの販売
 リボンマグネットの販売
 ホームページの充実と有効活用
 パンフレットの作成

(2)人材育成事業

各種講習会・試験の開催
 インストラクター資格認定・更新手続き
 アシストインストラクター、ヘルパー、
 認定アドバイザー資格認定
 認定講習会講師育成

■2022年度 理事の選任について ※2022年度新規就任者

理事長	中田 希衣			
副理事長	柏村 文郎、	石井 孝弘、	中田 順寿	
理事	土谷 麻紀、	正清 久美子、	岩下 香織、	上田 千恵、
	塚本 雅弘、	長谷川 季里子*、	中川 美和子*、	齋藤 朋子*、
	山蔭 功一*、	比嘉 則子*		
監事	井上 哲良			(敬称略)

■新理事長就任のご挨拶

盛夏のみぎり、思いの外早い梅雨明けと共に、本格的な夏到来となりましたが、皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は RDA Japan の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

過日開催されました本法人理事会におきまして、理事長職を拝命いたしました。

今我が国もそして世界的にも様々な転換期を迎えているこの時世におきまして、理事長の職に就くにあたり、その責務と使命の大きさに身の引き締まる思いです。前理事長の土谷麻紀さんはじめ二年の任期を全うされた理事の皆様の功績を更に発展させていける様、新しい理事会の皆様と心を合わせ全国のユニットと会員の皆様のために、またこの領域の前進のために尽力して参る所存です。

私たちの活動はあらゆる分野の専門性を必要とします。そして、私たちが提供する活動を利用される方のニーズも様々です。RDA Japan が所属する HETI (Federation of Horse in Education and Therapy International) の専門用語委員会ではこの領域の活動を EAS (Equine Assisted Service) という呼称で統一をしています。それは馬介在サービスとなりますが、サービスを提供する側として利用者の方のメリットを考える時、乗馬をする時間が有意義で生活の質の向上につながる楽しい時間であるために、その活動の主役である馬の日々の管理をはじめとするウエルフェアの向上、そしてレスンプログラムを立てるインストラクターの知識と技術の向上、ボランティアをしてくださるヘルパーの育成、医療従事者や特殊教育者との連携等にも取り組んでいかななくてはなりません。向こう二年を目標にこれらの要素が機動できる体制を構築していきたいと思いをします。

そして RDA Japan がこれまで培ってきたノウハウと共に、この領域の他の団体とも協力しながら、「新たな学び」と「交流」を大切に、活動の第一線であるユニットに還元できる体制作りに邁進していきます。全国の皆様、これまでと変わらぬご支援とご協力をいただけますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 RDA Japan
理事長 中田 希衣





5月27日・28日に北海道帯広市にある帯広競馬場内のふれあい動物園にて、C課目が行われました。その様子を講習会実行委員の目線からレポートします。

実施前に、なによりも心配していたのがお天気。物品の手配はできてもお天気だけは変えられません。北海道の5月の雨はまだ冷たく、しかも当初は2日とも雨の予報で、外で行う実習なのにどうしよう…と、とても心配しながら当日を迎えました。結局、1日目に少々の雨はあったものの2日目はお天気もよく、気候の良い中で講習会になったのは、講習に参加された皆様の日ごろの行いの良さによるものだったのでしょう（ちなみに私は雨女です）。

1日目午前中はA課目・B課目で学んだことの復習を兼ねて、リーダーとサイドウォーカーの動きを再確認しました。久々（前回の北海道でのA課目は2021年11月でした）に馬を使った実習でしたが、みなさま馬に慣れていらっしゃる方々だったので、さすがに馬を前にすると質疑も活発で、実行委員は時間が大丈夫か心配でした。

午後は、重度障害の方の乗り方の実習や、リーダー・インストラクター・サイドウォーカー・ライダーと役割を分けてインストラクターの実習を行いました。インストラクター役を行うのは初めての場合も多かったようですが、日ごろ活動されている方が多かったからみなさまスムーズに初日の実習を終えました。一日の最後に2日目のテストのくじびき。ここで相当緊張された方もいらっしゃったように見えました。

2日目は、午前中テスト前のインストラクターの実習。ここもみなさまスムーズにクリアされているように見えました。テスト前だからか、この日も質問が多く、みなさま熱心に受講していらっしゃいました。そして午後が運命のテスト。ミスなくいけるのか、時間内に終わられるのか…経験のある方も多い中、さすがにみなさま緊張の面持ちでテストに臨まれていたのが印象的でした。終わって講評。このときのみ

みなさまの「やり切った感」の表情が、緊張と対比してとても晴れやかでした。

実際に馬を使った2日間の実習ということで、みなさまとても熱心に受講され、いろいろなものをお持ち帰りになったと思います。今後の活動に少しでもお役に立つことができるなら、お手伝いさせていただいた実行委員として幸いに思います。

最後になりましたが、今回、講習会の開催に際しまして、ばんえい十勝・服部義幸調教師に多大なるご協力をいただきました。ここにJRA Japanより感謝の意を表します。ありがとうございました。

北海道講習会 実行委員
齋藤 朋子





この度新しくインストラクターとして認定された方を紹介いたします！

●長谷川季里子さん(所属 RDA 千葉)

こんにちは！

2022年1月にB級インストラクター資格、2月にHETIレベル1インストラクター資格を取得した長谷川季里子と申します。

RDA Japan との出会いはさかのぼる事2017年。

当時、臨床心理大学院の修論のテーマに悩んでいた時に乗馬セラピーを知りました。国内外の文献を読みあさるうちに、これは絶対効果がある！と思い、日本で活動をしている団体を検索、RDA Japan の存在を知りました。

馬に乗ったことも触ったこともなかった私がRDA Japan に直接お電話をしたところ、快く活動を見学させて頂き、その後丁寧に、説明をしていただきました。その際、活動はもとより、乗馬セラピーに携わっている方々の志にいたく感動。自分も乗馬セラピーをライフワークにしよう！と決心して、インストラクター資格取得を目指してその月に一番早い日程だった岡山の講習会に東京から参加致しました。

その後修論の締め切りに追われながら乗馬レッスン、インストラクター講習会と頑張る年月。講習会実技のリーダー役では馬に足を踏まれたり、サイドウォーカー役では速歩についていけずに転んでしまったり。



途中何度もくじけそうになりましたが、講習会を受講するたびにRDA スタッフの皆様の暖かいサポートや励ましのおかげで5年かかった今年、念願のインストラクター資格を頂くことができました。

今は修論時代に乗馬レッスンでお世話になった乗馬クラブで「RDA 千葉」として活動をしています。障がいがあっても馬に乗る事。それに伴って出来る事が確実に増えていきます。そんなライダーさんの進歩に関われる事に心から感謝しています。

RDA Japan と HETI からの学びを継続し、皆様の活動を参考にしながらインストラクターとして活動を続けて行こうと思います。

みなさま、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

●石井豊さん(所属 RDA たま)

新型コロナウイルスが、猛威を振るっている時期に、B級インストラクターの資格を取ることができました。関係された方々の凄絶な努力の結果として、私にとってのメダルを取ることが出来ました。

この資格取得は、私にとってオリンピックのメダルをいただいたに等しいことです。

今後は、このメダルに相応しい活動をしていけたらと思っております！

編集部よりー

石井さんは、70歳を過ぎての挑戦で、みごとB級インストラクターの資格を取得されました。今でもユニットRDA たまでボランティア活動に参加され、現役バリバリのライダーです。

ユニット活動紹介！ 《まきば 一準ユニット》

※このページは一以前紹介されたユニットからの推薦リレー形式で紹介をしています。

今回は「瀬野川乗馬クラブ」(1月掲載)からのバトンを受けた、広島県の準ユニット「まきば」の紹介です。

広島県の有限会社びりーずタカハシの高橋です。
事業形態は創業15周年の乗馬クラブの『福山ホースクラブ』と設立10年の福祉事業の児童発達支援・放課後等デイサービス『まきば』です。
ホースクラブ創業当時、私はホースセラピーを知りたくて三木市で「全国障がい者馬術大会」を開催しているJRADに参加しました。その後、福山ホースクラブ内で乗馬などの療育活動を行う『まきば』を開設しました。

現在、福山ホースクラブでは、毎年200名余りの幼稚園児の乗馬・ひき馬・エサやり体験や他の福祉事業所との連携で利用者さんのホースセラピーを行っています。今年から小学生のプライベートレッスンを始めました。

RDA Japan 準ユニットである、福祉事業の『まきば』では、定休日以外の平日は近隣の小中学校や特別支援学校の生徒児童を毎日10名余り、療育乗馬を行っています。土曜日は5歳から18歳までの子供達、15名余りが利用しています。年に2、3回の親子療育では保護者の方にも馬に乗っていただき子供に馬を引いてもらって親子療育乗馬を楽しんでいます。



3月から毎月1回『まきば勉強会』を理学・作業療法士の方と始めました。まきばを利用する肢体不自由の児童で馬に乗れる子は、マッサージを行ってから児童を乗せてホースセラピーを実践しています。5月からリハビリテーション学院の生徒も参加することになりました。

施設の療育として毎日ホースセラピーに取り組んでおられる皆様からよく相談されることですが、馬の体調が悪い時や天候不順の時はどうしていますか？といわれます。私たちのところでは、そういうときには野外での乗馬セラピーにこだわらず、止める勇気を持って乗馬の活動はお休みしています。けれども、子供たちにまた次回も”馬に会いに来たいな”って思ってもらえるような、馬と一緒に楽しめられる、乗馬の代わりになる他の療育活動（ブラッシングやエサやりなど）を楽しんで過ごしてもらえるように常に心掛けて行っています。

これからも子供たちのために努力していきますのでよろしくお願いいたします。

高橋のり子



○第 14 回国際エクササイズサイエンス学会 学術大会

大会テーマ『ホースセラピー ～日本におけるその可能性～』

日 時 2022/7/30(土) 9:00 ～ 12:00

場 所 天理大学 奈良県奈良県天理市杣之内町1050

大会長 局 博一 (東京大学名誉教授)

開催方法 対面+Web (Zoom) による Web ハイブリット方式

プログラム 講演3題、シンポジウム1題 を予定

対 象 ホースセラピーに興味のある方であればどなたでも参加できます。
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など是非ご参加ください

参加申込 Web (ホームページ) 申込

申込先URLは、<https://forms.gle/Jkts9q5nJSudub7A>

※お申し込みされた方へは、2022/7/25 以降にメールにて大会参加の Zoom (URL) のお知らせがあります。(大会前日までに Zoom の URL が送られてこない場合は、大会事務局へお問い合わせ下さい)

締め切り 2022/7/24 (日)

参加費 無料

<当日の参加について>

参加方法：当日時間に余裕を持って下記 Zoom リンクから入室をお願い致します。

尚、zoom 画面に表示される参加者名は「氏名_所属」に変更をお願い致します。

<お問い合わせ先>

第 14 回国際エクササイズサイエンス学会学術大会事務局

大会準備委員長：帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科 石井孝弘

〒409-0193 山梨県上野原市ハツ沢 2525

e-mail：k-kurokawa@ntu.ac.jp (事務局：黒川)



歴代写真コンテスト入賞作品より

● ウクライナ緊急支援募金へのご支援をお願いします



HETI の連盟会員でもあるウクライナヒポセラピスト協会の会長アンナ・ブラーゴさんから、HETI に支援をお願いするメールが届きました。

HETI を経由して、HETI メンバーである RDA Japan にも連絡が届いたので、会員の皆さまへお知らせします。

以下、(和訳)全文になります。

親愛なる友人と同僚の皆様、ご支援ありがとうございます。

ここウクライナの状況は非常に困難です。現在、乗馬セラピーセンターのスピリットホースはキーウにあり、馬たちは全て生きています。しかし、ウクライナの厩舎の多くは、落下するロケット弾と火災によって破壊され、馬はロシアの占領者によって撃たれました。馬の所有者の何人かは彼らの命を救うために馬を解き放ち、また何人かは彼らの馬を安全な場所に連れて行きました。私たちの協会とスピリットセンターの緊急の目標は、馬とその世話をする人々の生活を支援することです。

乗馬セラピーセンターの仕事は残酷に中断されました。私たちは皆ショックを受けています！ロシアの占領者の残酷さは信じられないほどです。命は彼らにとってなんの価値がありません。人も馬の命も全く惜しむことなく、です。

もし HETI にリソースがあれば、どんなサポートにも感謝します。干し草、オーツ麦、おがくずを購入する、世話をする人に給料を支払う、動物を安全な場所に移動するなど、各所有者がそれを割り当てる方法を知っているので、送金は私たちを助ける最も効率的な方法です。

わずかな金額でもウクライナ乗馬セラピー協会は、馬や人々を救う機会を探している乗馬セラピーに携わる人々のニーズに基づき、金額を配布することができます。

敬具

アンナ・ブラーゴ、
キーウスピリットセンター所長、
ウクライナヒポセラピスト協会会長

このメールを受け、RDA Japan は、アンナ・ブラーゴさんの団体への支援を決定いたしました。

この機会に、ご支援を希望される皆様からの寄付も受けさせていただくことになりました。

ご支援いただける方は、次の口座に郵便局より振込用紙にてお振込をお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座番号：00100.4.32279 口座名義：特定非営利活動法人 RDA Japan

その際、通信欄に必ず、「ウクライナ支援」と明記し、ご住所・お名前もお書きください。

※ RDA Japan より寄付証明書を皆様にお送りする際に必要となります。

お振込いただきました支援金は RDA Japan が取りまとめ、ブラーゴさんの団体へ送金させていただきます。1日も早くお届けしたいため、**8月末を締め切り**とさせていただきます。

皆様の暖かいご支援をお待ちしております。

特定非営利活動法人 RDA Japan



○ 令和4年度会員登録（年会費）更新のお願い

RDAJapanの運営は、皆さまの会費によって成り立っております。

4月号に会費振込用紙を同封しておりましたが、お手続きいただけましたでしょうか？
年会費の納入（年度更新）がまだの方は、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご協力よろしくお願い致します。

○ 認定資格、ユニットの認定期限をご確認ください（再登録手続きのお願い）

RDAJ認定資格、認定活動団体の継続手続きをお忘れのユニットはありませんか？

どうぞご確認ください。期限が切れている場合の手続きについてはご案内致しますので、事務局までご連絡願います。

● 活動予定や活動報告、ご意見などを、ぜひお寄せください

RDA Japan Newsは、皆さまからの情報で成り立っています。

役立つ楽しい会報を目指していますので、乗馬会や講習会などのイベント情報、

活動中のトピックスなどなんでもドシドシお寄せください。

原稿の送付先は RDA Japan 事務局 rda@rdajapan.or.jp までお願いします。

次号（10月発行）の原稿締切は、9月5日です。

● ご協力感謝いたします！

就労移行支援事業ハートスイッチ東岡山校様に訓練の一環として、会報の封入と郵送作業のご協力をいただいております。大変ありがとうございます！



コロナも漸く落ち着いて来て、活動を再開されたユニットも多いかと思えます。

ライダーの皆さんの笑顔を見ているとこちらも元気になり、やはり人と馬とのふれあいは大切なあとしみじみ感じます。昨今の不安な世界情勢を思いますと、平穩に過ごせるということがどんなに幸せか、再確認する日々です。

さて、5月7日に、RDAJapan2022年度総会が無事執り行われました。

資料を揃えることから、皆様へのお知らせ、その後の登記申請など、事務局として初めての業務に追われましたが、理事長はじめ理事の皆様にご助けいただき、なんとか終えることができました。会員の皆様にも速やかな委任状の提出にご協力いただき、ありがとうございました。この場を借りて御礼を申し上げます。

今年度の執行部は、新理事長のもと、5名の理事が新たに加わり、フレッシュな体制になりました。皆でタッグを組み、RDAの活動を益々盛り上げていこうと心を新たにしております。

皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



発行：特定非営利活動法人RDA Japan（東京都 認定NPO）

■ホームページ <http://www.rdajapan.or.jp/>

■郵便振替 □座番号：00100.4.32279 □座名義：RDAJapan

返送先：RDAJapan 事務局 〒201-0012 狛江市中和泉5-39-15

■電話 080-6519-7818 ■FAX 03-3430-8603

■E-mail rda@rdajapan.or.jp